

# 高輪会会報

Reunion of Tokai University Takanawadai Senior High School

東海大学付属高輪台高等学校同窓会会報

発行所:東海大学付属高輪台高等学校同窓会

〒108-8587 東京都港区高輪2-2-16

TEL.03-3448-4011 FAX.03-3448-4020



Vol.26

題字:東海大学総長 松前達郎先生

「高輪会」は、電気通信工業学校、電波工業学校、東海工業学校、東海高等学校・併設東海中学校、東海電波高等学校、東海大学高輪台高等学校、および東海大学付属高輪台高等学校の同窓会です。

## 高輪会活動の重点



高輪会会員の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃は、同窓会の発展のために、多大なご支援、ご協力を賜り心から感謝し、お礼を申し上げます。

さて、2020年から新型コロナウイルスが猛威を奮い、高輪会会員の皆様や母校皆様が活動を制限され大変苦労されたことと存じます。高輪会の活動も感染防止の観点から活動を制限しておりましたが、種々の感染対策を講じながら、昨年の夏より活動を再出発させました。

本年度の高輪会の活動は、以下の2点に重点を置いて取り組んで行きたいと考えております。

### 1. 同窓会交流イベントの開催

同窓会員同士の交流のために同窓会を開催する。高輪会としては交流の場を提供するために、その支援活動を行う。詳細については、今後、役員会で決定いたします。

### 2. 青年部の発足と高輪会の活性化

若手同窓会員との交流を深めるために、青年部を中心とした同窓会組織を結成する。行事やイベントを開催したり、ウェブサイトを活用したりすることで交流の場を拡大し活動の活性化を図ります。

次に、2022年度の部活動への支援と同窓会開催の援助

高輪会会長 内村 宏幸

金について、高輪会の支援活動をご紹介させていただきます。

### 1. 部活動の支援について

昨年の部活動の主な支援としては、吹奏楽部第69回全日本吹奏楽コンクールで銀賞受賞とダンス部 USA2021全国選手権大会出場で全国大会出場(団体の部:インターハイ出場とする)の2件に支援金を贈りました。今年度の部活動の活躍を願っており、また、ご協力させていただきます。

### 2. 同窓会開催の支援について

昨年度は、2件の援助金による支援をさせていただきました。1件は2018年度卒業生では32名の方が集合し、コロナ禍の中、皆が結束して親睦を深めました。2件目は、2019年度卒業の6組の方が結集、恩師を囲み、20名が集まり親睦を深めました。

今年度も皆様におかれましては高輪会を活用し、同窓会を開催して交流を深めていただきます様、お願ひいたします。

最後に、高輪会の今後の活動は、いかに高輪会を活性化するかという大きな課題があり、皆様の若い活力を高輪会は必要としています。私達、役員だけではなく卒業生の皆様方が一人でも多くお集まりいただき、恩師との語らいや、旧交を温める場として高輪会を活用して下さい。そして、感謝の絆で結ばれた素晴らしい同窓会をより一層進展させるため、引続きご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

副会長 森 俊雄

異なり地味な活動です。活動はまず研究テーマを決め、実験を中心とした研究を進めて行きます。実験は想定通りの結果がなかなか出ず、何度も実験方法を見直し、最後には研究成果となった時には、喜びもひとしおでした。

今思うと、仲間と切磋琢磨し、時にはぶつかり合いながら、共に成長することができました。

このような経験は、私の人生において、かけがえのない財産にもなりました。高校時代の経験は、私に、多くのことを教えてくれました。

その中でも、特に印象に残っているのは、仲間と切磋琢磨することの大切さです。仲間と切磋琢磨することで、人は成長することができます。そして、成長した人は、社会で活躍することができます。

高輪会は、高校時代の仲間と再会し、交流を深める場です。今後の企画として、青年部の立ち上げや同窓会の開催の支援等を推進して行きたいと考えています。

この場を、皆様がより一層充実した時間にできるよう、役員一同、尽力して参ります。今後とも、高輪会をよろしくお願ひいたします。

## 部活動の活躍に喜び

皆様、お元気でしょうか。私は、高輪会の副会長を拝命頂き、高輪会の活動に参画しています。

77年の歴史と伝統ある母校ですので、諸先輩を始め皆様のご協力を頂いて高輪会の更なる発展に全力を尽くして参る所存です。何卒宜しくお願ひ申し上げます。

さてここで母校の部活動の近況について、触れておきたいと思います。7月号の飛躍から次の活躍が報じられました。

### 1. 陸上競技部 男子400m 木村さん インターハイ出場

### 2. 剣道部 男子団体 関東大会ベスト16!

女子団体・男子個人(3年 木村さん・増田さん)  
関東大会出場

### 3. 柔道部 男子団体 関東大会出場

### 4. 男子バレーボール部 関東大会出場

この様に、母校が部活動においても発展し、功績を出していることに私は感銘を受けております。

各部活動の皆様に申し上げたいことは、いつも練習を頑張ってくれてありがとうございます。今日は、皆さんの力で必ず勝利をつかんではほしいと、いつも願っております。

私は、高校時代に物化部に所属していました。運動部とは

# 玄関で校舎を見上げると



卒業生の皆さんが母校を振り返るとき、頭に浮かぶことはどんなことでしょうか。苦しかった剛健旅行、研修旅行での出来事、教員や友達との会話、卒業式で流した涙、試験で苦しんだこと…人それぞれの思い出が浮かんでくると思います。そして、たくさんの人にとって、本校の思い出は部活動で頑張ったことではないでしょうか。

現在、本校の正面には、7台の懸垂幕昇降機に「祝 関東大会出場 剣道部」「祝 関東大会出場 柔道部」「祝 関東大会出場 バレーボール部」「祝 関東大会出場 陸上競技部」「祝 インターハイ出場 柔道部」「祝 インターハイ出場 陸上競技部」「祝 インターハイ出場 バドミントン部」という4本の関東大会、3本のインターハイ出場を祝う垂れ幕が下がっています。新校舎が1998年に完成してから25年。関東大会とインターハイの2大会だけで7本すべての懸垂幕昇降機が埋まったのは今年が初めてです。さて、この懸垂幕昇降機はいつごろできたのだろうと興味がわいてきて、過去の学校報「飛躍」をめくり、垂れ幕の写真を探しました。

私が高輪台に異動してきたのは1996年で、サッカー部や吹奏楽部は都大会にも出場できない状況でした。それ以前に野球部が頑張って東京都の上位に勝ち上がった年があって、グランドのない本校で校舎の屋上からボールを落としてフライのキャッチの練習をしていたことがテレビで紹介され

校長 片桐 知己治

たことがあるという話を聞きました。1998年の新校舎完成時の写真には懸垂幕昇降機はまだ写っていません。新校舎完成時には全国大会を祝う垂れ幕の必要性が無かったんだと思います。学校報「飛躍」をめくると、初めて懸垂幕昇降機の写真が登場したのは、2002年10月号の表紙で、そこには2台の懸垂幕昇降機に「祝 全日本吹奏楽コンクール出場 吹奏楽部」と「祝 国民体育大会出場 柔道部」の2本の垂れ幕が写っています。吹奏楽部が全日本吹奏楽コンクールに初出場した年です。2004年の卒業記念品として「懸垂幕昇降機

2台」となっているので、少しずつ全国大会に出場する部活動が増えてきて、懸垂幕昇降機が足りなくなってきたのでしょうか。2006年1月号の最終ページには5台の懸垂幕昇降機が写っています。その後、さらに本校の部活動の活躍はすさまじく、2台の懸垂幕昇降機が増設されました。現在は7台でも足りないほど本校の部活動は頑張っています。

まもなく夏休みがやってきます。新型コロナが2類から5類に変化し、色々な行事が戻ってきました。野球部や吹奏楽部、ダンス部などの活躍も楽しみです。現在本校のホームページでは、部活動の結果や大会の予定をお知らせしています。卒業生の皆さんのが喜んでいただけるような結果が出るといいなと思いますし、お時間がありましたら、後輩たちの活躍の応援に駆けつけていただけると嬉しく思います。野球部やサッカー部の大会で、卒業生の皆さんとお会いできることを楽しみにしています。

## 第12回高輪会定期総会開催のお知らせ

高輪会会長 内村 宏幸

拝啓 盛暑の候、皆さま方にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、2020年6月に開催する予定であった第12回定期総会は、新型コロナウイルスが猛威を奮い感染症対策も十分に対応出来ないことから中止としました。不本意ながら会員の皆様にはご迷惑をおかけいたしました。

新型コロナウイルス感染症につきましては規制の緩和の動きも出てきているものの、終息への途は不透明な状況が依然として続いております。このような中、会員の皆様と集合しての総会開催は困難であるとの判断から、下記のご案内とおりZOOMによるオンラインでの総会を開催いたします。

母校は開校以来、卒業生は今年で3万人を超えるまでの伝統ある学校へと発展してきました。高輪会も活発な活動を行い発展させて行きたいと考えております。

つきましては、高輪会会員の皆様、また、クラス幹事の皆さまには広く同期の皆様にご案内いただき何卒ご参加くださいますようよろしくお願い申し上げます。

敬具

【開催日時】2023年8月26日(土)

午後3時00分～午後4時30分

※午後2時45分頃から接続いただけます。

【利用制限】ZOOMライセンスの同時利用者数には制限があり、主催者と会員様と併せて100名となっております。制限を超える参加者があった場合には、誠に申し訳ありませんが会議への参加が出来ませんので、ご了承ください。

【開催形式】ZOOMによる双方向ミーティング  
パソコン、タブレット端末、スマートフォンからご参加可能です。

【参加要項】総会参加にはZoomウェビナーのリンクから入場するか、会議ID・パスコードでご参加ください。  
なお、事前にZOOMアプリのインストールをお願いいたします。

◎Zoomウェビナーのリンク

東海大学付属高輪台高等学校・高輪会総会

時間: 2023年8月26日 02:45PM

<https://us06web.zoom.us/j/85375570305?pwd=NUNHNGh2bG1FSkhZR3hESIM0VEhvzd09>

ZOOM接続を容易にするためQRコードを作成いたしました。

ミーティングID: 853 7557 0305 パスコード: 2su2Fs



## 2023年高輪会入会式報告

副会長 岡本 信一

コロナ禍のため、しばらく行われていなかった高輪会入会式が2023年3月4日(土)に行われました。高輪会からは、内村会長、岡本副会長、宍倉副会長らが出席し、岡本副会長から3年生に入会歓迎のご挨拶を述べさせていただきました。残念ながら新クラス幹事・副幹事との歓迎食事会は中止しましたが、直接3年生の皆さんに思いを伝える事ができ大変うれしく思いました。

〈以下当日挨拶〉

■皆さんこんにちは。

この度、東海大学付属 高輪台高等学校 同窓会(高輪会)の、入会おめでとうございます。

入会に当たり、自己紹介を兼ね、一言ご挨拶申し上げます。

■私は、今から50年前の、1973年に、本校を卒業した、岡本です。

当時は工業科4クラス、普通科6クラスあり、私は工業化の電気通信課卒です。

現在、私は、高輪会で副会長を、努めさせていただいております。

私と母校との出会いは、中学3年の夏休み仲の良い友人とそれぞれの志望校を見学に行こうという事になり見学に訪ねたことがあります。

その当時、若い先生がLL教室や物理実験室、化学実験室など学校の施設を親切に案内してくださいました。

その応対に感激した私は、どうしてもこの学校に入学したいと強く思いました。

当時、私立高校の入学金・授業料は都立の数倍でした。

## 2018年卒 野球部同窓会

2022年12月29日(木)に2018年卒の野球部で忘年会を兼ねて同窓会をしました。同窓会は2019年、2021年もやってきましたが今年は過去最大の出席人数となりました。久々に皆に会うと、高校卒業時と今で比べて見た目と内面が全く変わらない者もいれば、大きく変わった者もいてそれぞれでした。いざ会が始まるとなれば、大きくなったり小さくなったりなど、様々な変化が見受けられます。高校での思い出の話などであつたという間に時間は過ぎていき、非常に濃い楽しい会になりました。皆が大学生であるときにこの会をすることは今回が最後なので、切なく思うことと同時に時の流れの速さを実感しました。来年から大学生、大学院生の者や就職先の関係で地方に住む者、将来の夢を追って浪人する者と皆様々です。それぞれの掲げている目標に向けて頑張っていって欲しいです。まだまだコロナの収束はいつかわからず過ごしづらいご時世が続いていきます。皆体調に気を付けてまた会える日を楽しみにしています。

同窓会開催日:2022年12月29日(木)

代表者:鯨岡弘平(2018年度卒業)

参加者:(3-1)佐藤豪紀、宮下歩、高橋優祐 (3-2)嶋田智仁  
(3-3)瀬戸涼太郎、丸山大賀 (3-4)清水健郎、山崎太智、岡野俊輔  
(3-5)西原秀俊、小森谷和樹、鈴木泰慎 (3-6)伊東翼、梅澤昂大、岡本哲弥、杉田凜平、山田琉晟 (3-7)浅野光紀、石崎省悟、江波戸優真、若林潤、有馬佑哉、斎藤光海 (3-8)覚田宗一郎、成澤颯、沖和樹、渡辺佐理央、河原龍太 (3-9)山村奎太、杉崎夏輝、鯨岡弘平、江原裕来



大きな家計負担となってしまいます。

どうしても高輪台に入学したい私は父親に頭を下げ合格したら私立に行かせて欲しいと頼み込みました。

そして高輪台に入学、3年間の高校生活を無事に終え卒業して現在に至っています。

私は電気大好き人間で、そのため高輪台の工業化を選択したということもありました。

実験・実習では、メチャメチャしごかれました。

先生曰く「うちのレポートは大学より厳しいよ」と。

でも、そのことが仕事に就いた時、大きな違いを感じました。

オシロスコープは、使い方を教わらずに操作でき(学校で使っていたから)データのまとめも(レポートでしごかれていたから)難なくこなす。

振り返れば学校の恩恵は大変なものでした。

それと在校生の皆さんのが色々な分野で活躍されている事は卒業生として大変うれしい事です。

■最後に皆様へお願いがございます。

母校を卒業され、新しい世界へ羽ばたいていかれますが、青春時代の最も多感な時期を勉強に部活動と共に励んだ金の思い出を大事にしていただきたいと思います。

また母校のこと決して忘れないでください。

同窓会活動を通し、多くの同窓生と出会うことができ、これは、あなたがたにとって、かけがえの無い、とても大きな財産になると、私は信じております。

どうぞ、お気軽に、高輪会に参加していただくことをお願いして、歓迎の挨拶とさせていただきます。

## 2019年度卒 6組クラス会

実施日:2023年3月21日

場所:東京都台東区台東4-6-1 馬鹿うまJR御徒町南口店

人数:20名

参加者:神谷真子、佐藤純夏、高橋瑠妃乃、萩原葉月、藤岡陽苗、植山想太、落合悠貴、齋藤俊介、里見凌輔、長井泉樹、長尾優祐、中川龍太郎、滑川優、長谷川諒、原口竜太、堀田耀平、安野旭、山本貴将、米澤春哉、加藤新也先生

3月21日に卒業して3年ぶりに加藤先生を交えてのクラス会を行いました。コロナウイルス感染症の関係で、クラス会を計画してもなかなか実施することができませんでしたが、今回は久しぶりに大人数で集まることができて本当に良かったです。卒業後は東海大学に進学していない者もあり、なかなか普段は会えないメンバーとも交流できたことを嬉しく思います。担任の加藤先生も相変わらず元気で楽しそうにしていたので良かったです。高校時代にいろいろやってしまった失敗談を語りあったり、あの時は実はこんなことを考えていたなど、みんなの面白いエピソードをたくさん聞くことができ、本当に有意義な会になりました。今後も数年に一度くらいはこのようなクラス会を行い、今回来られなかつたメンバーにも来てもらいたいと思いました。 文責:長尾優祐



